

インテュイティブ サージカル (ISRG)

【セクター】 ヘルスケア機器

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

手術支援ロボット「ダビンチサージカルシステム」などを販売し、患者の体への負担が少ない低侵襲治療を可能にする手術支援システムを提供しています。「ダビンチサージカルシステム」は高倍率の3Dハイビジョンシステムや手振れ補正機能などを搭載し、没入型コンソールにより優れた視野と高い操作性、精緻性、そして人間工学に基づいた快適性を医師に提供します。2020年12月期の「ダビンチサージカルシステム」の導入台数は407台で、期末の稼働台数は5,989台となっています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

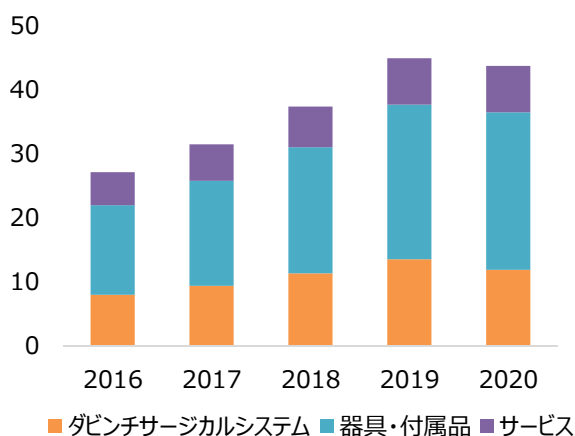
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
19.12期	4,479	1,525	12.76	0.00	71.2	18.5	85.1
20.12期	4,358	1,223	10.16	0.00	82.7	11.8	87.4
21.12期（予）	5,311	1,636	13.19	0.00	94.2	15.2	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

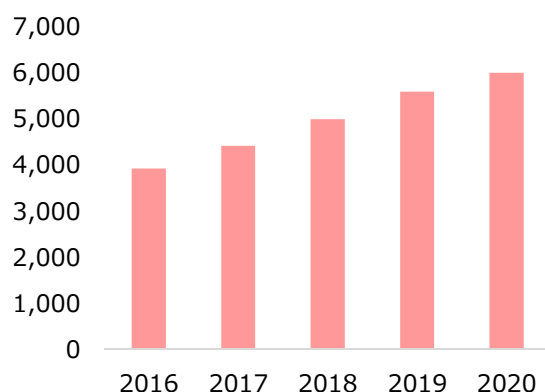
【主要指標】

品目別売上高（億ドル）



（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

「ダビンチサージカルシステム」稼働台数



（出所）会社資料よりSBI証券作成、稼働を中止したシステムを除いたベース

【会社の見方】

「ダビンチサージカルシステム」が利用する「器具・付属品」や「サービス」の売上高が全体の約7割を占めます。手術を1回行うごとに700～3,500ドル程度の器具・付属品が必要となることから、病院などに設置された同システムが継続的に収益を生み出すビジネスモデルとなっています。手術支援ロボット市場で約8割の世界シェアを持つと推定されますが（出所：Informa UK、2018年）、同社の保有する特許が相次いで期限を迎えていることから競争環境は今後激化していく見通しです。

【見通し・注目点】

1-3月期は、売上が前年同期比18%増、EPSが同33%増と好調でした。新型コロナの影響で手術件数の停滞が懸念されていましたが、世界の手術件数は同16%伸び、「ダビンチサージカルシステム」の出荷は同26%増の298台でした。システム売上が前年同期比30%増と伸びていることは先行きの売上好調を示唆するものと考えられます。

（SBI証券 投資情報部 栄 聡）

（更新日 2021/4/28）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。